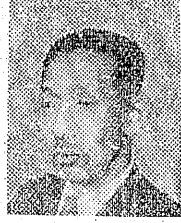




發行所 磐城日日新聞社
社址 小名浜町法橋51
電話 219番
支店 小名浜 3155番
印刷所 高瀬芳郎

各界知名士の讃辭
創業十周年に集注
輝く臨港鐵道の前途

【既報】小名浜臨港鐵道株式會社の十周年記念行事は本十八日午前十時より開催するハトバ莊に於ける祝賀をトツプに十九日の運動會並に演藝會と前後二日間に亘り盛大なる祝典を舉行することになつたが特に十九日の演藝會には東宝スター高杉妙子(歌)並木一郎(漫才)その他奇術、ダンス、音楽、漫才等多彩なプロが編成されている。なお本日の祝賀に對し左の如く小名浜町の知名士から讃辭が寄せられた



電化の實現を望む
日本水素社長 莊野精一郎
臨港鐵道十周年式典に於ける機會を得てことは誠に欣快に堪えない



將來の發展を祈る
縣會議員 小野義一
が裨益するところ極めて甚大であることは多言を要しない、殊に東北に冠たる日本水素との関連性から見て、鐵道の恩恵



町民の期待は絶大
小名浜町助役 長瀬國三郎
濱産業に多大の便益を興えては、本町の背後には豊富な常磐炭田が存在しているので、大小工場建設と相俟つて前途洋々たるものがある

商漁港小名浜町に多年の宿望であつた鐵道が開通し地方鐵道の花形として臨港鐵道株式會社が発足してよりここに滿十年を經過し、ますます發展しつつあるのは誠に慶賀に堪えない。そも交通文化の發達は、町の發展上不可欠の要件であるが、小名浜の場合には、江名、豊間、泉等隣接町村を聯繫する動脈として臨港鐵道

大都市の建設は交通機關の完備なくしては不可能である、小名浜港と常磐線とを結ぶ臨港鐵道と小名

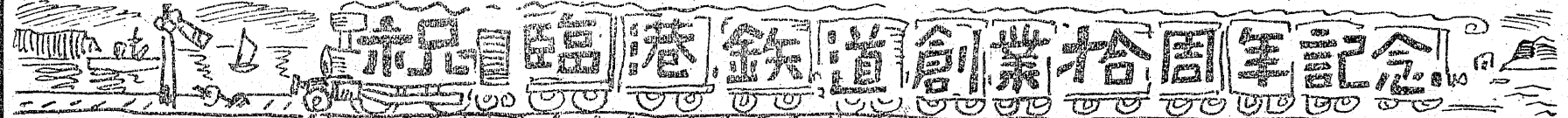
我が社は十四年に創立したのであるが創立前は當地小名浜に鐵道の便がなかつた、そもそも交通機關が無くしては大工場が建たない、故に町長は中野友禮元社長と話し合つて先ず日素の引込線として計畫され社長も兼務してはいたが獨禁法實施のため臨港鐵道が社長も新たに出來たが臨港の大株主は日素だから姉妹關係になつています、現在日素の年産額は八万トンでコークス、石灰、硫黄、燐等の原料二十四万トン計三十二万トンと包裝材カマス二百萬枚更に年間二億圓を要する材料の輸送等すべて臨港に依存している、この運賃も莫大なるものである、このような次第だから戦



産業發展に裨益
町會議長 菅原勳
とは言えないが小名浜臨港産業者へ貢献している点を認識しなければならぬ、本日創業十周年記念式典を迎えるに當り益々社運が隆盛に向つてゐるのを祝賀すると同時に日本線の電力開通に伴ひ電化への切換も地元の人として大いに期待してゐる

地方産業開發に貢献する處も愈々多きを加へ、大小名浜建設の一翼を擔うものとして町民の期待は極めて大なるものがある(寫眞は長瀬助役)
勞使協調の典型だ
港灣委員長 立花秀吉
得たものとして同様に堪えないこの勞使協調の美を發揮しているのは先年労働争議に苦杯を喫した浦田専務の明察と努力の結晶で他社の好模範になつてゐるが同氏も今日の盛運に直向して感慨無量なものがあろう、ローマは一朝にしてならず、内朝にしてならず、同氏が私鉄の王者として内容を著々具備し大過なく今日を迎えた背後には竹川社長、眞木常務の家族的な理解ある登

事業の隆昌は天の時、地の利、人の和の三要に支配される事は論を俟たないが臨港鐵道株式會社が本十周年記念式典を迎へては、幸い江名鐵道敷設工事も急進的の運びになつてゐるので、これが完成の時は、



Advertisement for various businesses including 長瀬印刷所, 小名浜臨港鐵道労働組合, 磐城通運株式會社, and 小名浜埠頭株式會社. Includes contact information and addresses.

運命のカギをにぎる

調査團の一問一答

ピニオン小名濱町に点火 工場問題

(既報) 倉敷レヨン満谷車役等三名は豫定通り十六日午後一時四十分米町、直ちに小名濱第一小学校講堂にて石原参議院議員、井関縣土木部長、鈴木平市長、小野務平町長、各町議隣接町長、各官廳機關代表等七十名と懇談、工場誘致委員長小野務平氏より小名濱町ピニオン工場施設計画資料の説明及び石原町長が代表した鈴木平市長より小名濱町へ工場建設を奨励する旨の挨拶あり満谷車役より富山、岡山兩工場が本格生産の緒に就き新工場建設の見通がつかないで現地を調査することになったと米町長が説明あり、青島小名濱港工事々務所長及町関係各課長より細部事項を説明、終つて三千屯岸壁、敷地豫定地、用水路等の現地視察を行い午後四時終了した。當日は湯本町松栢館に宿泊、昨日午前原の町視察に向つた倉敷レヨンでは第二、第三次基礎とし第二、第三次と技術家の専門的調査を行い最後の決定を見る模様である。満谷氏の挨拶並質問要旨は次の通り

我社では十数年前より

小名と江名を連結せよ

工場誘致委員長 小野務平



臨海鉄道が十年前地方鉄道として現行の三時六の軌道に變更され昭和二年國鉄との間に連帯運輸の契約が成立した事は小名濱町に對する交通機關の恩恵として本鉄道發展の意義を銘記しなければならぬ。しかしながら過去の軌道時代の歴史より

小名濱臨港鐵道株式會社

創業十周年の歩み

一沿革と概要一

小名濱臨港鐵道株式會社は昭和四年六月二日に創立され資本金十萬圓による磐城海岸軌道株式會社がその前身である。初代社長は中野浩忠氏で昭和十四年六月十日地方軌道業法から地方鐵道法による認可がなされた。



七九年を擁する地方有数の私鉄である。社長 竹川 久仁氏、専務 浦田文二郎氏、取締役 眞木 弘氏、小名濱町長 巳町 田名部 武氏 (寫眞は竹川社長)

御支援を切望する
臨港鐵道 浦田文二郎 專務取締役

当社は昭和十六年十一月に鐵道敷設工事を完成して以來、創立十周年を迎える事になったが、鐵道事業の性質から見て十年という年月は、その古い歴史ではないので、この度の創立十周年記念に、御支援を切望する。御支援を切望する。御支援を切望する。

件を調査して置く必要から今回の調査は、結果を比較對照して最も經濟的條件の良好な地から逐次に工場建設を進めたい、それは電氣、石灰石の事情が重要で、福島は適當であるが他に用水藥品等を必要とするので、これらの實地を調査したい、富山岡山工場の現況より次期工場建設の見通がつかないで、今同調査が必要になつた次第である。

▲敷地關係
問 敷地が決定し、早急に移動する。津波に對する敷地の關係は、海岸は砂丘地帯を爲し土地も相當高。

▲用水問題
問 取水法は、自然流下による。最大湧水量は、一八四個、水量は、影響なし。

▲石炭處理問題
問 石炭の處理は、目下本町にて拂下申請中の海濱地にて處理することが出来るが、運輸省小名濱工務事務所の運河計畫に利用し得られるから、無制限といつてもよく、全計畫實現上、一石二鳥の効果があつた。

▲衛生向上に
ニユース板
常磐湯本廠では労働者の労働衛生に對する知識の向上こそ、生産向上への先決問題であるとして、過般より坑口待合所に衛生ニユース板を掲げ視覚による教育宣傳を行つてゐる。

▲魚市場
十七日
甘藷 二二三五圓
里芋 四〇一五〇
大根 一五一一七
白菜 一七一一三
白菜 一七一一三
葱 三五五〇〇
牛蒡 四五五〇〇
ほうれん草 五〇一八〇
柿 六五一一二〇〇
蜜柑(一箱) 二二四〇〇
さくらんぼ 五五五六五
十六日(總水場五万貫)
鰻 六〇〇一九〇〇〇
まぐろ 一七〇一一〇〇〇
水産魚 一三〇一五〇〇

▲貨車輸送申合
去る十五日午前十時半より平石炭會館で第六回、東部石炭協會評議員會を開き常磐貨車輸送について左の事項の實行を申合せた。

① 毎日の配車は必ず積込み乗積しない事
② 特別の理由があつて草がけい田舎であつた地方に交通機關の重要性に着眼してその實現の爲に献身的に努力する見識と抱負とが、先づ必要である。更なる敬服し感嘆している次第である。

▲小野務平氏著書
小名濱町回顧録
小名濱町の交通機關は、江名を貫した唯一の交通機關である。本會社は、大正四年六月の創立である。當時は江名、小名濱間の交通機關に過ぎなかつたが、鈴木製塩場の小名濱、泉間の軌道を買収して江名、泉を一貫したものでした。

あせつても四十、五十から下り坂
疲勞回復、早老防止にとて
も効く強壯薬あり
御相談下さい

體質に合った排出率
のよ、各種虫下しは
非一度お試し下さい

小名濱町中島通り
長生堂藥局
TEL 370

飛躍する交通機關
交通労働は文化的最高
機能で世界平和に貢献

交通機關の發達が貧窮職業層としても重要な位置にあるが、米國の鐵道労働者は百三、四十萬人に上り二十有餘の友愛組合の國內労働界に占める位置は最も典型的なものでありわが國鐵労働者も四十萬を擁し國內最大の巨大團體をなしている。交通労働の特色を検討すると、事務的労働と技術的労働とに分れるが、前者は機械的労働で、後者は技術的労働である。車輪、保線、通信等の係りは技術員であり、旅客、貨物、車掌、職務管理部門の係りは事務員である。究極に於て交通の眞の文化的最高機能は人類の融和統合と經濟繁榮とに活用し世界の平和樹立に貢献することである。

▲天氣豫報
(今日) 朝の中北寄りの風と、風の中は南寄りの風と、一時雲が濃くなり、(海上) 穏やかでしょう

酒は 林城の 磐城 櫻